

CASBEE® 名古屋

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価基準2016年版、各項目の評価指標と評価基準マニュアル2016

評価結果

■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西区鳥見町計画新築工事	階数	10
建設地	愛知県名古屋市西区鳥見町一丁目12番2、笠町四丁目78番1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	223 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2024年3月25日
敷地面積	2,084 m ²	作成者	
建築面積	957 m ²	確認日	2024年3月25日
延床面積	5,024 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																					
BEE = 1.7 ★★★★☆																									
S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B: ★★★☆☆ C: ★☆☆☆☆		30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆																							
<p>Q: 環境品質 P: 環境負荷 L BEE = 1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>3.0</td> <td>1.5</td> <td>BEE=1.0</td> </tr> <tr> <td>88</td> <td>1.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>32</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> </table>		3.0	1.5	BEE=1.0	88	1.7		50	32		0	0.5		<p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>71%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>71%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>71%</td> </tr> </table> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>		①参照値	100%	②建築物の取組み	71%	③上記+②以外の	71%	④上記+	71%		
3.0	1.5	BEE=1.0																							
88	1.7																								
50	32																								
0	0.5																								
①参照値	100%																								
②建築物の取組み	71%																								
③上記+②以外の	71%																								
④上記+	71%																								

2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質					
Q1 室内環境			Q2 サービス性能		
Q1のスコア= 3.4			Q2のスコア= 3.0		
<p>音環境: 3.0 温熱環境: 3.5 光・視環境: 3.5 空気質環境: 3.6</p>			<p>機能性: 3.2 耐用性・信頼性: 3.1 対応性・更新性: 2.8</p>		
Q3 室外環境 (敷地内)			Q3のスコア= 3.1		
			<p>生物環境: 2.0 まちなみ・景観: 4.0 地域性・アメニティ: 3.0</p>		
LR 環境負荷低減性					
LR1 エネルギー			LR2 資源・マテリアル		
LR1のスコア= 4.2			LR2のスコア= 3.2		
<p>建物外皮の熱負荷: 4.0 自然エネルギー: 3.0 設備システム効率化: 5.0 効率的運用: 3.0</p>			<p>水資源保護: 3.0 非再生材料の使用削減: 3.3 汚染物質: 3.3</p>		
LR3 敷地外環境			LR3のスコア= 3.5		
			<p>地球温暖化への配慮: 4.1 地域環境への配慮: 3.5 周辺環境への配慮: 3.1</p>		

3 設計上の配慮事項					
総合			その他		
良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、省エネ基準を満たす快適な室内環境を整えるよう努めた。			特になし		
Q1 室内環境			Q3 室外環境 (敷地内)		
F☆☆☆☆の内装材を採用し、室内空気環境に配慮している。			敷地内には適切に緑化を施することで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。		
LR1 エネルギー			Q2 サービス性能		
断熱性能を省エネエネルギー対策等級4相当、電気ヒートポンプ給湯器、LED照明設備を採用することで省エネエネルギーに配慮している。			耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。		
LR2 資源・マテリアル			Q3 室外環境 (敷地外)		
躯体と仕上げ材が容易に分別可能な材料を使用し、再利用可能性向上に努めた。			ライフサイクルCO ₂ 排出率を参考値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)西区鳥見町計画新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目	評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策			4.2
LR1 エネルギー	4.2	0.4	
LR3.1 地球温暖化への配慮	4.1	0.1	
LR3.2.2 溫熱環境悪化の改善	4.0	0.05	
2. 自然共生			2.6
Q3.1 生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1 地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2 まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0	0.045	
3. 循環型社会			3.2
LR2.1 水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2 非再生性資源の使用量削減	3.3	0.18	
LR3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 4.2



2. 自然共生

評価点 = 2.6



3. 循環型社会

評価点 = 3.2



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。